

整理番号	2023M-	072	補助事業者名	社会福祉法人はしま	事業項目名	福祉機器の整備
------	--------	-----	--------	-----------	-------	---------

## 別紙 JKA補助事業 2023年度 事前計画/自己評価書(4/5)

### 5. 補助事業の自己評価

作成日	2023	年	12	月	2	日	作成者	川島 孝直
-----	------	---	----	---	---	---	-----	-------

#### (a) 個別項目評価

●個別の評価項目について、事前計画/自己評価書(3/5①②) 4. 事前計画 に対する達成状況等を把握し、分析・評価してください。					採点
(1) 受益者 (ニーズ)	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				
(2) 事業内容	予定通り特殊浴槽一式(特殊浴槽2台、入浴用車いす2台)を導入した。9月23日より使用している。				
事業の新規性または継続の必要性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				採点
事業の発展性	2回目の自己評価時に評価してください。(評価様式は別用紙になります。)				採点
実施計画・体制	入札等が順調に進み、無事導入することができた。事務局と入浴委員会での情報の共有等、円滑な運用ができる体制にした。				4
(3) 達成目標	事業の実施結果	[達成値] 2023年9月分22日	[達成状況] 100%	[具体的内容] 納品時に納入業者の担当者によるべ勉強会を開催し、新しい特殊浴槽使用方法等への理解を深めた。万全の態勢で新しい特殊浴槽の利用した入浴を開始した。	4
	事業の成果・波及	[達成値] 13人	[達成状況] 100%	[具体的内容] 1日13名の利用者に入浴を安全に楽しんでいただいた。	5
(4) 情報発信	事業の実施結果	[達成値] 1. 1回 2. 0回	[達成状況] 1. 100% 2. 0%	[具体的内容] 1. 月に発行の施設たよりに特殊浴槽の紹介記事を掲載し、関係者等に配布した。 2. 補助事業の工程については短時間での作業のためブログの記事としては更新できなかったが、導入後は法人HPに掲載できた。	3
	競輪・オートレース補助金による事業であること	[達成値] 1. 1回 2. 1回	[達成状況] 1. 100% 2. 100%	[具体的内容] 1・2 上記の情報発信時には、常に自転車等機械振興事業に関する補助金事業であることを明示した。	4
(5) 自己評価の体制	予定どおり評価委員会を開催し評価を行った。(「評価課程の記録」として議事録添付) 評価結果の法人HP掲載は12月中に行う予定。				4

#### (b) 総合評価

●(a) 個別項目の評価から実施状況等を振り返り、事業全体を評価してください。		総合 評価点	4
(1) 事前計画 (2/5)記載の「補助事業の直接的な目的」を踏まえた、事業全体についての意見・所感	計画どおり特殊浴槽を導入し、利用者の入浴の機会を妨げることなく順調に切り替えを行うことができた。従来は椅子浴、寝浴が必要な利用者の人数と設置してある特殊浴槽にギャップがあり、安全安楽な入浴を提供できないこともあったが、その課題が解消された。また、経年劣化で故障がらだつた特殊浴槽が理由で入浴が制限されたこともあったが、それも解消された。今後は新たな特殊浴槽を導入できたことで入浴に関わる職員の業務負担が軽減がされたので、これまでよりも質の高いサービスの提供が期待される。		
(2) 優れている点・課題、改善すべき点	法人HPによる情報発信については、当該施設の担当職員に一任していたため、職員の業務・健康状態等状況により順調に進まないことが多かった。本部にて補助事業全体を管理することにしたので状況は改善できたと思われる。		
(3) その他、アピールしたい点、是非知ってもらいたい点	地域に初めて導入された特殊浴槽なので、ホームページ等で情報を得た他の施設より特殊浴槽の見学をしたいとの申し込みがあった。また、導入業者にも問い合わせがあり地域のショールームのような役割をしてもらえないかとの依頼があり承諾した。		

整理番号	2023M-	072	補助事業者名	社会福祉法人はしま	事業項目名	福祉機器の整備
------	--------	-----	--------	-----------	-------	---------

## 別紙 JKA補助事業 2023年度 事前計画/自己評価書(5/5)

### (c) 事業の促進・阻害要因の自己分析

- 事業の目標達成を促進した、あるいは阻害した要因について、「要因分類」(1)~(15)の「促進」または「阻害」欄に「\*」を記し、要因の内容を a 欄に、阻害要因への対応あるいは今後この分析結果をどう活かすかを b 欄に、それぞれの要因分類の番号(1)~(15)を付して、具体的にご記入ください。
- 促進または阻害要因が無い場合には、(16) の欄に「\*」を記してください。

事業の促進・阻害要因の自己分析					
	促進	阻害	要因分類	a. 促進または阻害要因の具体的な内容	b. 対応、今後この分析結果をどう活かすか。
内部 要因			(1) 経費		
			(2) 実施体制 (人員、関係機関 の協力等の確保)		
			(3) 資材調達 (事業実施に必要 な物資等の確保)		
			(4) 実施期間 (事業終了までに 要する期間)		
			(5) 事業運営のノウ ハウ(進捗管理、 資金管理等)		
			(6) 設計仕様の変 更(主に建築)		
			(7) その他		
外部 要因			(8) 受益者の 規模・ニーズ		
			(9) 実施体制以外 の団体等の協 力・支援		
			(10) 関連法制度 の変更		
			(11) 利害関係者 (受益者以外)の 要望への対応		
			(12) 災害の発生 (地震、洪水等)		
			(13) 同様の技術 開発		
			(14) 競合するサー ビス・事業の出 現		
		(15) その他			
	*		(16) 特になし		